

**市民広聴会「まちづくりエリアミーティング（第4回）」**  
**意見交換内容まとめ（概要）**

< テーマ > 市政全般

日時	令和4年10月2日（日）10時～11時40分
会場	北部地域交流センター・なごみん
出席者	市長、参加者23名

回答については、当日の意見交換内容に加え、市の今後の対応予定等も記載しています。

参加者意見	回答
<p>&lt; 松平氏の研究拠点を岩津に置いてほしい &gt;</p> <p>「どうする家康」での盛り上がりを大いに期待しています。ドラマは来年一年で終わってしまいますが、その後の永続的な進歩・発展がレガシーになると思っています。そこで提案なのですが、家康が成功する中世史をテーマとし、なぜ西三河の地から全国の覇者を輩出することができたのか、その学術研究、分析、広報を含めた研究拠点の整備をお願いしたい。“どうする”家康よりも”どうして”家康という点に着眼して岡崎市がイニシアティブをとってほしい。</p> <p>松平氏が松平から岩津に出てきて600年という記念すべき年まであと数年です。市を挙げてそのことを推し進めるべきだし、岩津地域活動拠点施設の中に研究拠点を置き、全国に対して情報発信を進めていく期待をしています。</p>	<p>&lt; 松平氏の研究拠点を岩津に置いてほしい &gt;</p> <p>家康公時代、康生の岡崎城の周辺はあんな天守はなく砦のようなもので、中心地として栄えていたわけではなく、その時代に栄えていたのはまさに岩津地区だったという話も聞きます。松平氏が松平から出てきて最初に陣を構えたのは岩津城であるということも含め、歴史がいっぱい詰まっているのがこの岩津地区で、そういったことも大切にしながら事業を進めていかなければならないと思っています。8月の初め頃、岩津城跡を見学させていただきました。様々な松平に関わる話を承り、色々な歴史のロマンを感じることができました。地元の皆さんが活動されている「岩津松平氏輝きの600年」という節目を活かして、岩津の歴史を売り出したり、認識を深めるということが大事であるというのは、おっしゃる通りなので、取り組んでいきたい、支援していきたいと思っています。</p> <p>そのほかに、大河ドラマ館と合わせて家康館、岡崎城、岡崎公園のリニューアルや、たくさんのお客様がお越しになることを想定して周辺の道路渋滞、駐車場事情の改善といった、ドラマが終わってもレガシーを残し、活か</p>

	<p>していくことができる取組をさせていただいています。すでに、市全体で今年から来年にかけて家康公を中心とした歴史の振り返りを通じて、その歴史を活かし再来年以降も継続させていくという話をしており、その中には岩津城のことも伝えてありますのでぜひ御協力いただければと思います。岩津地域活動拠点施設に松平氏の研究拠点を置いたらどうかというお話も念頭に置かせていただきながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>&lt;岩津地域活動拠点施設へのアクセスについて&gt;          岩津地域活動拠点施設が賑わいの大事な拠点になると期待しています。          右折帯を新設して利用しやすくなるのはありがたいことなのですが、それだけでは不十分だと思います。裏口から入る道もぜひ設けてもらいたい。畑などを買収する必要がありますが、裏から入れるようにしていただければ、すごくアクセスが良くなります。まずは表側からアクセスが先だと思いますが、次に裏側から入る道も設けてもらってアクセスを良くしてもらいたいです。</p>	<p>&lt;岩津地域活動拠点施設へのアクセスについて&gt;          現状では、国道 248 号線の右折帯の設置のみの予定ですが、ここでいろいろなイベントが開催された時、入口が国道 248 号線側だけだと、場合によっては渋滞してしまう可能性もありますので、入口はたくさんあったほうが良いと思います。          裏道については、様々な課題があるので設計段階から念頭に置いて検討していきたいと思っています。</p>
<p>&lt;高齢化について&gt;          北斗台も高齢化が進んでいます。心配するのは孤独死、買い物、通院かと思っています。最近では北斗台でも孤独死が発見されたり、なんとか未然に防げたものの、あと少し遅かったら命がなくなっていたかもしれない、という状況もあったようです。買い物、通院については、総代自身が高齢者の足代わりになってお手伝いをされています。2012 年に行った、北斗台の住民を対象としたアンケートでは、高齢化に対する住民の意識が非常に高いという結果でした。住民、町内会、市、民生委員、福祉委員などが一体となって、今必要なことは何</p>	<p>&lt;高齢化について&gt;          実際に孤独死が起きてしまっているということは大変残念です。高齢化社会への対応は最も大切なところなので、あらゆる政策手段、行政資源を活かしていきたいと思っています。現在、市では「見守り配食サービス」、「高齢者見守り支援事業」、「緊急通報システム設置」、「ひとり暮らし高齢者等実態調査」といった高齢者の見守り支援事業を実施しています。また、ひとり暮らし高齢者などへの見守り訪問を実施している学区福祉委員会や老人クラブもありますので、多方面から支援を推進していきたいと思っています。          買い物や通院の移動については、北斗台での総代さんによるボランティア輸送「お助けカー」の取り組みも含めて、まずはどの程度の需要があるの</p>

<p>かを議論し、問題を解決する体制づくりと、関係者の認識が必要です。例えば、近い将来、自動運転が開発されればその活用や、なにかあったときに高齢者がどこかに知らせることができる通信機器などの技術的開発の対応も必要かと思えます。どのようなお考えか聞かせいただければと思います。</p>	<p>か地域で把握していただき、市へご相談いただければと思います。</p>
<p>&lt;まちの潤いを生み出す施策について&gt;  まず、新規の建物などの計画と並行して既存の公共施設の活性化を行う必要があると思えます。  次に、市民意識調査結果は平成 30 年から令和 3 年までに「住みやすいと回答した人」が 7 ポイント上昇した要因は何なのかが気になりました。  全てに繋がる話ですが、町が潤っていくということの原資としては当然、税収があります。阿知和地区工業団地の造成は、何の税収がどれだけ上がるのを見据えて、このような計画が成り立っているのか。また、公共施設、南公園や中央総合公園などが無料で使えるということは市民にとってメリットが高いのですが、100 円、200 円でもそれを今後の整備費に充てるなど、これからは並行して事業収益を考えていく必要があると思えます。費用対効果をシビアな目で判断した上で市の計画が成り立つと、とても住みやすい街になると思えます。  大河ドラマについても、例えばエキストラで出ることができると市民が主体的にまちの魅力を感じるきっかけになると思えます。みんなで盛り上げる活動があっても良いと思えます。市民が活力になって市に愛着を感じるようなまちになってほしいです。まちの潤いを生み出す施策として、単発で</p>	<p>&lt;まちの潤いを生み出す施策について&gt;  新しいものを作るときは既存のものをなくす、見直すということをしています。岩津地域活動拠点施設を作るときは、現在の地域交流センターをどうするか、ということを考えていかなければならないと思えます。  市民意識調査で、住みやすさが上昇した直接的な要因は定かではありませんが、「保健・医療・福祉」の分野の重要度・満足度ともに最も高いことから、コロナ禍における本市の取り組みに対して一定の評価を得たと考えています。  阿知和地区工業団地の造成には相当なお金がかかりますが、それは当然売却収入を得て、新たな法人税、法人事業税、固定資産税、都市計画税、といったいろんな税収を見込むことができます。雇用が創出されれば、所得税、市民税という形で税収に繋がるということになります。  また、中小企業がコロナや自然災害といった、経営者にとって不可抗力によって廃業、倒産となることは、大切な技術や雇用を喪失するということに繋がりがねませんので、大河ドラマ「どうする家康」を商機と前向きに捉え、中小企業をしっかりと守り育てていくということもさせていただいています。ドラマをきっかけにお越しいただいたお客様に新しいお土産や食のメニューなどを通じて岡崎の店舗・商品を知っていただき、地元の中小企業に元気になってもらいたい、大きくなってもらいたいという思いで、商工会議所、オカビズなどと連携して支援し、ドラマ期間後の継続的な消費につなげていきたいと考えています。</p>

<p>終わることなく広がっていけば良いと思います。</p>	<p>それから、わずかな料金の負担で持続可能であればそれが岡崎市の発展につながる、というのは、おっしゃるとおりです。もともと税金を納めていただいているうえに、さらに市民の皆さんに負担いただくのかということは非常に重要な問題ですので慎重に考えていきたいと思います。</p> <p>ドラマエキストラについては、実は、大河ドラマ「どうする家康」では、背景の CG がカメラと連動するなど最新の撮影技術 VFX を駆使していること、コロナの影響で野外ロケが難しいことなどから、現地でのロケはほぼない状況です。仮に NHK などからエキストラの手配要請があった場合については、岡崎フィルムコミッションに登録されている 800 名超のエキストラを中心に声かけさせていただくことになると考えています。</p>
<p>&lt; 地域での交流と医療機関での支払いについて &gt;</p> <p>コロナ禍で地域でもあいさつをしなくなってしまうました。別におしゃべりしなくてもいいから、こんにちは、とか今日の天気くらいのあいさつくらいはできるようになってほしい。年寄り少し寂しいです。</p> <p>中学 3 年生・高校 3 年生相当の年齢の子どもにインフルエンザ予防接種の補助の話がありましたが、補助が出るのであれば、お医者さんの窓口で支払うときに補助額は支払わなくて良い状態のほうがうれしいです。妊婦さんも高額料金を払うと聞きますから、窓口で払うときに充実している状態になるといいかなと思います。気が楽になるシステムになると良いなと思います。</p>	<p>&lt; 地域での交流と医療機関での支払いについて &gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響などにより人と人との交流が減少しています。市ではごまんぞく体操や子ども食堂などの交流・居場所づくりや地域の支え合い活動を支援することで、地域づくり活動を推進していきます。</p> <p>税金、公共料金の支払いなどは、市民の皆さんにとって便利なものにしていきたいと思います。中高生のインフルエンザ予防接種の補助は、一旦は支払い、事後申請が必要ですが、市民の自己負担額を減らすことができるという点がメリットであるため、この方法をとっています。市から支給する国民健康保険の出産育児一時金については、支給額を超えた金額だけを窓口で支払えば済む方法もできるようになっています。今後もそれぞれの補助内容によって市民のメリットを考慮し実施していきたいと考えています。</p> <p>また、今、コロナでご苦労されて妊娠期間を過ごされていたり、頑張っ赤ちゃんを産んでいただいたかたに、岡崎市独自の支援策として赤ちゃん一人あたり 5 万円を給付させていただいております。そういったことも、なるべく市民の皆さんにとって便利な方法で振り込みをさせていただくように心掛けていきます。</p>

(了)